



2026年2月12日

各 位

会社名 BRUNO株式会社
代表者 代表取締役社長 塩田 徹
(コード番号 3140 グロース)
問合せ先 常務執行役員 CFO 経営企画部長 佐藤 信治
(電話番号 03-6631-0000)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、以下のとおり、2025年8月14日に公表いたしました2026年6月期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2025年7月1日～2026年6月30日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 14,850	百万円 1,295	百万円 1,108	百万円 857	円銭 59.81
今回修正予想（B）	13,000	600	400	380	26.49
増減額（B-A）	△1,850	△695	△708	△477	
増減率（%）	△12.5	△53.7	△63.9	△55.7	

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
（参考）前期実績（2025年6月期）	百万円 14,502	百万円 440	百万円 329	百万円 192	百万円 13.43

※ 前回発表予想は2025年8月14日「2025年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した2026年6月期の連結業績予想数値です。

2. 修正の理由

当社グループは今期、持続的な成長基盤の構築を最優先とし、販売チャネルの最適化と高収益体质への転換を推し進めております。具体的には、ブランド価値の維持と利益率の向上を目的とした販売ポートフォリオの適正化や、一部の海外ビジネスにおいて卸売モデルからライセンスモデルへ転換するなど、ビジネスモデルの再構築を実施いたしました。販売ポートフォリオの見直しにより、売上高は当初予想および前年同期を下回る見込みですが、収益性の高い事業構造への転換は着実に進展しております。ま

た、利益面におきましては、仕入価格の交渉等による原価低減に加え、物流コストの効率化施策が奏功し、前年同期比では増益を確保できる見通しとなりました。

一方で、2025年8月14日に公表いたしました2026年6月期の通期業績予想に対しては、想定を上回る急激な円安の進行が輸入原価を押し上げ、粗利率の改善幅が限定的となる見込みです。また、在庫の適正化等の物流コスト削減に向けた諸施策は進捗しているものの、外部環境の変化に伴う人件費および配送運賃等の全般的な高騰が相殺要因となり、販管費全体の削減幅が当初の意欲的な計画に届かない見込みとなつたため、通期業績予想を上記のとおり下方修正いたします。

しかしながら、販売チャネルの適正化を推進し粗利率が改善されたことに加え、棚卸資産（在庫）の圧縮等による運営効率の向上、及び保管費用の削減等が進んだことで、基礎的な収益力は向上しており、今後の再成長に向けた筋肉質な体質への転換が進んでおります。来期以降は、この収益構造改革を基盤として、新商品開発の加速、マーケティング戦略の高度化、海外市場の開拓、事業買収の検討等による成長投資を積極的に進め、持続的な利益拡大を目指してまいります。

注) 上記に記載した業績予想数値は、発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上